

なだらかな稜線が続く作手高原

獅子ヶ森、巴山、文殊山ハイキングコース

獅子ヶ森、巴山、文殊山はいずれも標高700m程度ですが、標高500mの作手高原に位置しており、山体はなだらかで、登山道が整備されている区間も多いため、手軽にハイキングを楽しむことができます。
また、コース上やその周辺には古城跡や古戦場が多くあり、歴史と自然を存分に楽しむことができます。

作手中学校から望む獅子ヶ森



獅子ヶ森は作手中学校の裏手にある728mの山で、頂上の無線アンテナが目印となっています。東側のピークには大きな石組の祠が祀られています。

御嶽山、恵那山方面を遠望



岡崎市

登山道入り口
作手中学校北の道を進むと
分かれ道があるが、
右へ進む



獅子ヶ森
728m▲ ハイキングコース看板

作手中学校
ヤマザキショップ
新城市役所
作手総合支所
駐車スペース

塞之神社趾

文殊山
661m▲ 文殊山城趾頂上

石仏
善福寺

巴山
710m▲

休憩広場

石堂ヶ根合戦
戦死者の墓

石堂ヶ根
合戦跡祠

文殊山から望む



文殊山は戦国時代、亀山城主奥平氏の砦城として使用されていました。山頂中央の観音堂には文殊菩薩が安置されています。また、物見櫓も整備されており、本宮山と作手高原を一望することができます。

コース概要

- 所要時間 / 5時間
- 距離[水平] / 13km
- 標高[獅子ヶ森山頂] / 728m
[巴山山頂] / 710m
[文殊山山頂] / 661m
- レベル / ★★★★★
家族・一般向け

※初中級者向け。距離・標高も適度にあり、少し歩き慣れた家族や一般に最適。

0 250 500m

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平27情復 第962号)

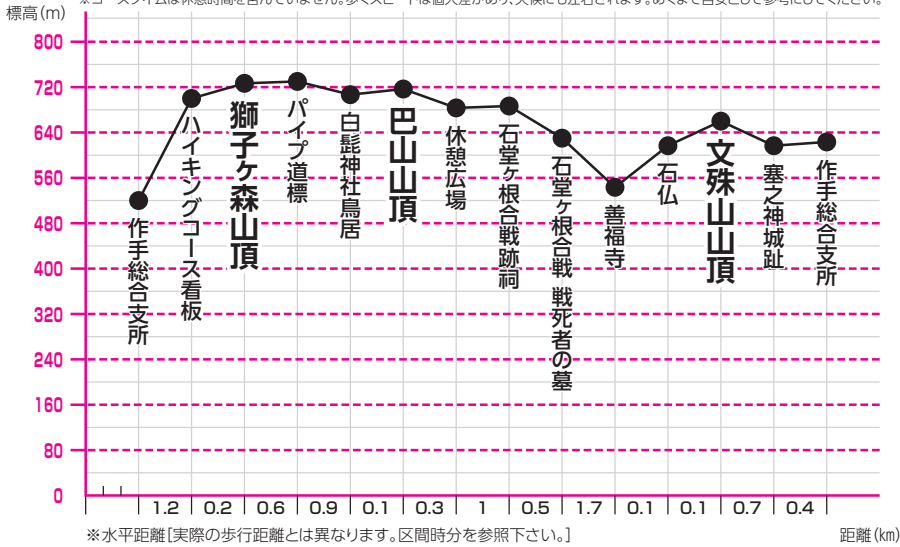
ビューポイント 注意場所

獅子ヶ森・巴山・文殊山周遊コース

INFORMATION コース情報

区間時分(分) ▶ 50 ▶ 6 ▶ 50 ▶ 47 ▶ 7 ▶ 15 ▶ 30 ▶ 15 ▶ 50 ▶ 15 ▶ 5 ▶ 30 ▶ 35 |

※コースタイムは休憩時間を含んでいません。歩くスピードは個人差があり、天候にも左右されます。あくまで目安として参考にしてください。



登山適期

通年

コースの特徴

標高約500mの作手高原に位置しており、登山道も比較的なだらかで広い年齢層が安心してハイキングを楽しむことができるとともに、トレイルランニングにも適しています。また、このコースは全長13kmで距離が長く、分かれ道が多くあるため、注意が必要です。地図は必携です。時間に余裕をもってお楽しみください。

携帯電話状況

おおむね良好です。📶

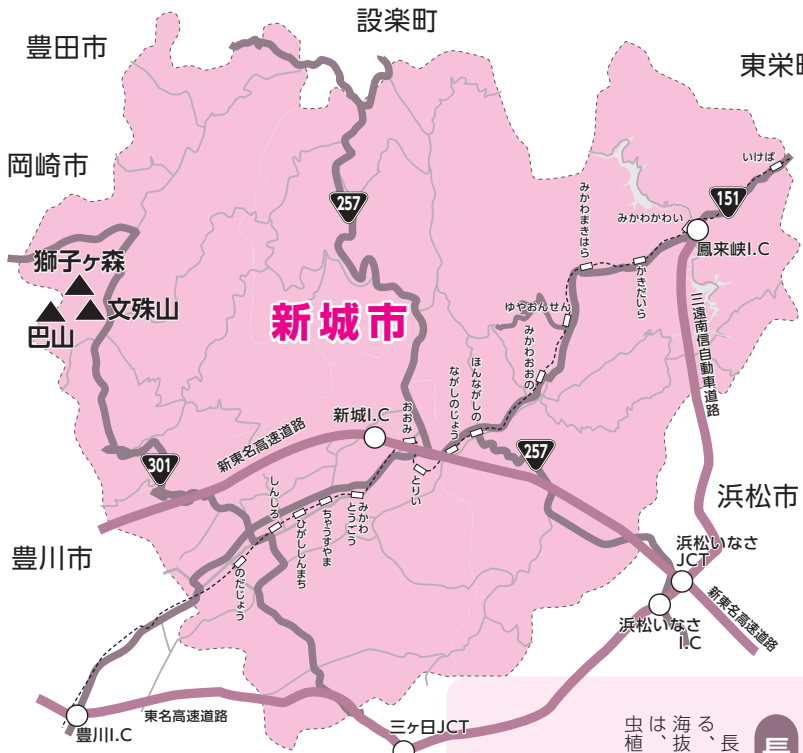
ACCESS 交通アクセス

マイカー

新東名高速道路新城ICから国道151号→国道301号→新城市作手総合支所
東海環状自動車道松平ICから国道301号→新城市作手総合支所
※駐車場は新城市作手総合支所をご利用ください。

公共交通機関

JR飯田線新城駅下車→Sバス作手線「新城栄町・新城駅口」→Sバス作手線「作手高里」下車
※Sバスは日曜、祝日及び年末年始は運休



獅子ヶ森・巴山・文殊山周辺の立ち寄りスポット

道の駅つくで手作り村

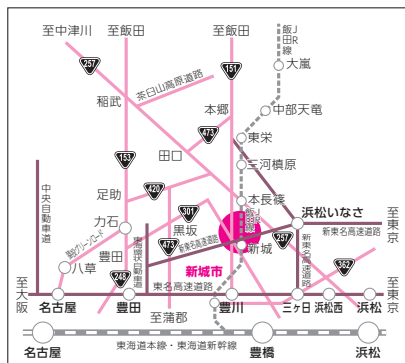
「農業・自然・手作り」をコンセプトに建てられた道の駅です。地元で採れる農林産物と、それらの加工品販売や旬の素材を使った料理が楽しめます。他にも木工や、手芸、郷土料理作りや農業体験ができます。

定休日：毎週木曜及び年末年始
営業時間：10:00～18:00 (10月～3月は17:00まで)
電話：0536-37-2772

作手歴史民俗資料館

新城市作手地区にある資料館です。この建物は、周辺に数多く点在する城郭からお城風の外観となっています。「長ノ山湿原」のジオラマや、亀山城跡の模型の他、作手地域の民俗、文化等が紹介されています。

定休日：毎週火曜日および年末年始
営業時間：9:00～17:00
入館料：無料
電話：0536-37-2269



長ノ山湿原

長ノ山湿原は34,084㎡の面積を誇る、東海地方で最大級の中間湿原です。海拔約540mの場所にあるこの湿原には、ミミカキグサ、モウセンゴケ等の食虫植物やサギソウ、トキソウ等のラン科植物など、植物分布上貴重な種が多く、また昆虫ではハッチョウトンボやヒメヒカゲ等貴重な種が見られます。

愛知県天然記念物指定(昭和48年11月)

亀山城と古宮城

いわれ・見どころ

作手高原には、戦国時代の古城跡が多く点在しています。中でも、亀山城跡と古宮城跡は直線距離でわずか200mの距離にあり、徳川、武田の最前線として対峙していました。

一方、古宮城は元亀4年(1573年)に奥平氏の監視を目的として武田信玄が重臣、馬場美濃守信房に命じて、武田軍の最前線基地として築城されました。しかし、天正3年(1575年)の長篠・設楽原の戦いで降、武田氏の衰退により廃城となったといわれています。

また、周辺には他にも文殊山城跡、川尻城跡、塞之神城跡等、数多くの古城跡が残っています。

※コースは一部を除きほとんどが登山道となっています。ご利用の際は、事前にコース状況をお問い合わせいただくとともに、ご自身の体調や体力に充分配慮し安全で楽しい登山をお楽しみください。又、火災予防にもご協力ください。

その他お問合せ

- 新城市観光協会 TEL. 0536-29-0829
- 豊鉄タクシー[新城営業所] TEL. 0536-23-5811
- JR東海テレフォンセンター TEL. 050-3772-3910
- 豊鉄バス[新城営業所] TEL. 0536-24-1141

●コースのお問合せ **新城市観光課 Tel.0536-23-7613**

踏査：山野WALK